

1F構内作業における APD未装着事象について

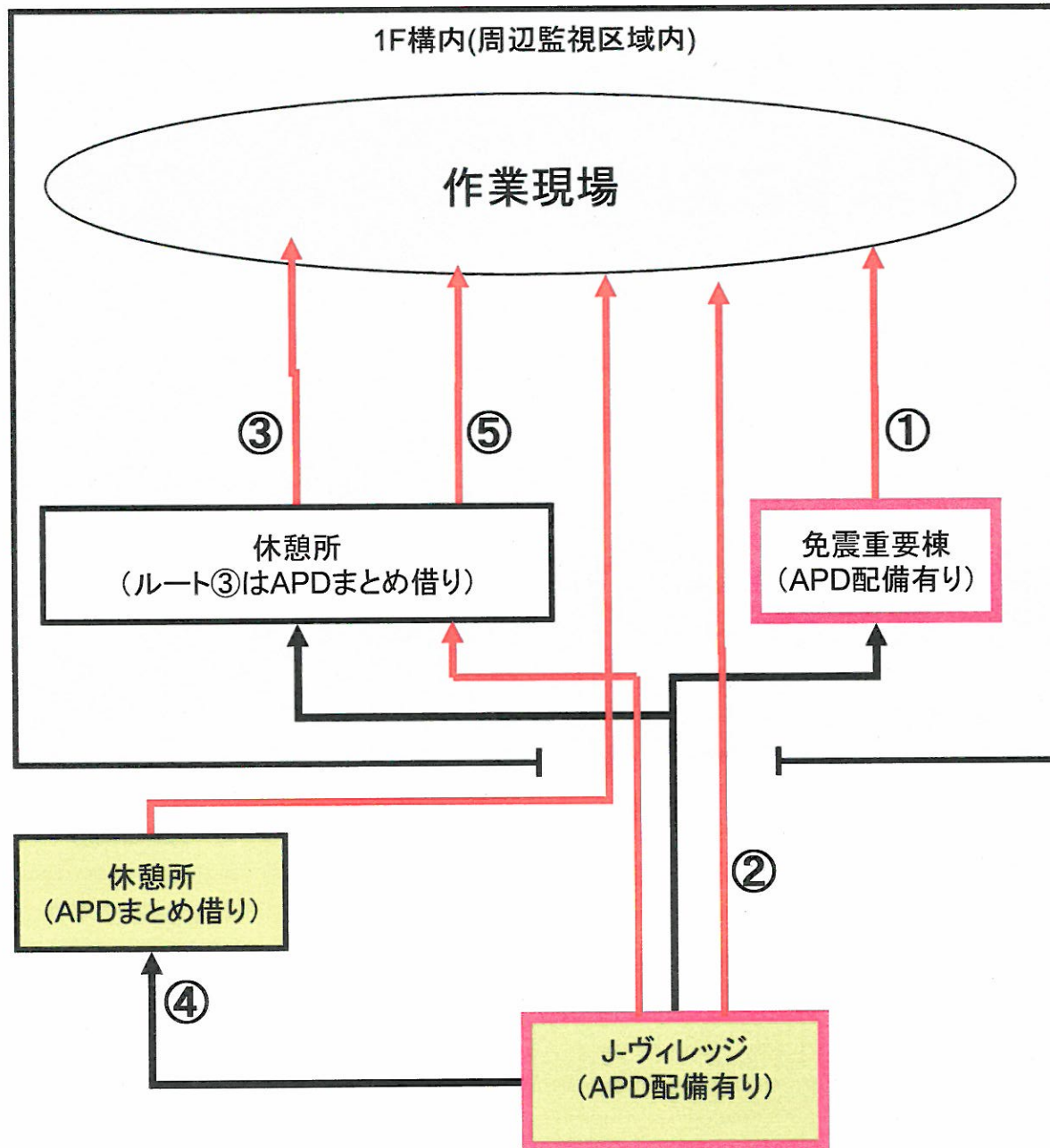
平成24年8月9日
東京電力株式会社

本資料には、東京電力株式会社またはその他の企業の秘密情報が含まれている可能性があります。当社の許可なく本資料の複製物を作成すること、本資料の内容を本来の目的以外に使用すること、ならびに第三者に開示、公開する行為を禁止します。

東京電力株式会社

【現 状】

← APD装着前
← APD装着後



【作業現場までの移動ルートと APD装着確認方法】

- ① APDは免震重要棟で借用し、作業現場に出向。
APD装着は、免震重要棟から出る時、第三者(当社委託員)による声掛けにより、注意喚起。
- ② APDはJVで借用し、作業現場にそのまま出向。
APD装着は、作業者個人への周知徹底。
- ③,④ APDは代表者が免震重要棟でまとめて借用。
各個人にAPDを配付し、作業現場に出向。
APD装着は、代表借用者から対面配付により、着用を確認。
- ⑤ APDはJVで借用し、休憩所を経由し、作業現場へ出向。
APD装着は、作業者個人への周知徹底。

【現状のAPD着用チェック機能のリスク】

ルート①

第三者の声掛けによる注意喚起

リスク: 現物未確認、ウツカリの発生

ルート②⑤

APD装着の作業員同士による相互確認

リスク: 慣れによる思い込み、第三者による注意喚起なし

ルート③④

APDまとめ借り者からの1対1の対面配布

リスク: APDの配布漏れ、第三者による注意喚起なし

【リスクへの対応】

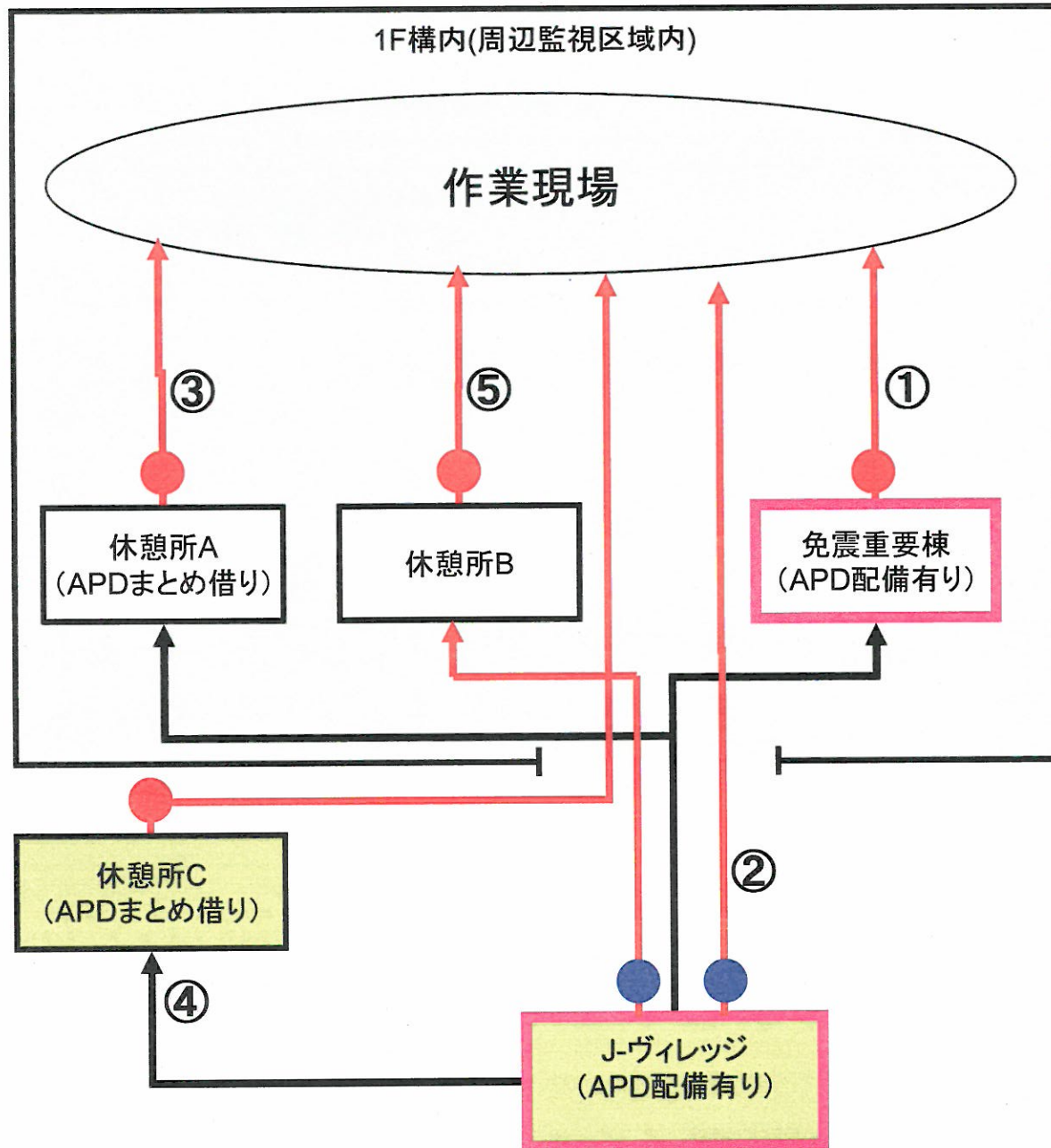
第三者(当社委託員)によるAPDの現物確認またはAPD着用確認済みの目印の確認

【リスク対応への課題】

- APD携行必須者の識別が困難。(①③④⑤)
- JVから作業現場へ直行する者のチェックができない。(②)

【対策】(案)

← APD装着前
← APD装着後



【作業現場までの移動ルート】

・現状維持。

【移動時の装備】

・JVから直接作業現場に直行する
場合については、白タイベック着用とし、APD装着を必須とする。それ以外の移動者については全員青タイベックまたは一般服とし、識別する。

【APD装着確認方法】

● JVから白タイベック着用者については、JV出口の1F入構者管理所※にて第三者がAPD携帯を目視確認。

● 免震重要棟・休憩所から作業現場への出向者(白タイベック着用者)は、第三者がAPDの装着を確認。

※国道6号線JV出入口(調整中)

【再発防止対策まとめ(東京電力分)】(案)

(1)JVから1F構内作業現場直行者へは、白タイベックの着用とAPDの携行を義務付け、1F入構管理所※でAPDの携行を第三者(当社委託員)にて確認を行わせること。

(2)免震重要棟または休憩所から作業現場に行くルート上にも、第三者を配置し、APDの確認を行わせること。

(3)なお、確認方法は、現物確認か、元請企業の責任をもって着用したことの目印を確認するかのいずれかとする。

(4)免震重要棟または休憩所から作業現場に行く者(白タイベック)と、1F構内ーJV(またはビジターズホール)間の移動者を識別するため、当該移動者は青タイベックまたは一般服に限定すること。

(5)前述の対策について、安推連などで元請事業者に対し周知徹底を図ること。

※調整中